



# 海洋生物を守る

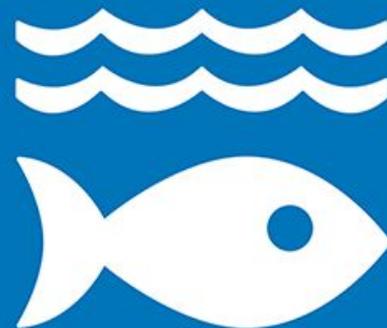
長野県上田染谷丘高校1年 2組 氏名 小林 莉緒

## この課題に関わるSDGsの番号

**12** つくる責任  
つかう責任



**14** 海の豊かさを  
守ろう





## テーマ設定の理由

テレビの報道で、海の生き物や自然に大きな影響を与えている事を知り、私たちの生活にも直接かかわることだからエネルギー・資源の問題について考えてみたいと思った。

自分たちが抱えている問題にもかかわらず、知らない事がまだまだたくさんあると思うから。

# 現状

道端などでごみが落ちているのを一度は見たことがある

と思います。そうして捨てられてしまったごみは、

海に行き着いて溜まってしまいます。

その行き着いたごみの中でも、特に深刻とされているの

がプラスチックごみです。現在、世界で海に

流れ出ているプラスチックごみは、毎年800万

トンを超えていると考えられています。

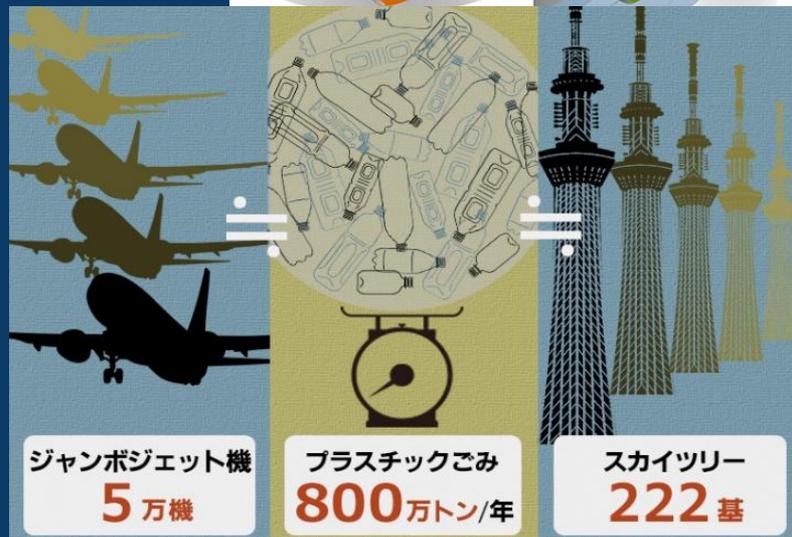
このままいくと2050年にはプラスチック

ごみの量が魚の量を超すという推計もあります。

ポイ捨てや屋外で放置された  
プラスチックごみが散乱



雨や風によって、川へ流れて海へ



## 課題

プラスチックが劣化などで  
砕けて小さくなったもの

- ・マイクロプラスチックを海洋生物が餌と間違えて食べてしまったり、プラスチック製の袋や網が体に絡まったりして炎症反応が起こったり、最悪の場合死んでしまう
- ・プラスチックごみが海洋環境を破壊し生態系が崩れ、プラスチックごみによって生物が傷を負ったり死んでしまったりして数が減るなどが原因で、本来取れるはずの海洋生物の漁獲量が減る

# 解決策

- マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない
- 水筒を持ち歩き、プラスチックのカップの使用を減らす
- プラスチック製のストローの使用を控える
- スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす
- 詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ
- 食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らす
- 買い物のときには簡易包装を頼む



# 10代からの提言

これからはプラスチックではなくてもいいものは**削減・変換**していき、プラスチックを使った製品を減らしていくことが必要だと思います。

これらを行行動を促進させるために私は「**省プラ活動**でお得に**エコキャンペーン**」を提案します。具体的には、エコバッグを持参するなどの”省プラ活動”をすることで**ポイント**がたまったり、**SNSやTwitter**などで発信すると買い物で使える**クーポン**がもらえる、また企業が”省プラ活動”をするとその程度に合わせた**補助金**がもらえるという仕組みです。

物価上昇が続いているこの時期にこういったキャンペーンを実施することでプラスチックの使用を減らす活動を自分たちから進んでやろうとしてくれると思います。



## 家庭でできること

ものより体験をプレゼントし、思い出だけ残す  
レンタルサービスを賢く使い、新品の購入を抑える

## 企業でできること

紙のカタログやDMは希望者のみに送付する  
紙の使用にこだわらず、書類は電子化する

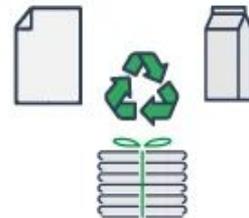


## 家庭でできること

使い捨ての乾電池でなく充電電池を選ぶ  
穴の開いた靴下はダビングで補強する

## 企業でできること

インク類は詰め替えて使う  
社内用封筒は何度も使い回す



## 家庭でできること

ごみはルールに従って分別する  
生ゴミはコンポストに入れ、堆肥(たいひ)にする

## 企業でできること

副産物の活用を探す  
リサイクルしやすい製品開発をする



## 感想

- ・私たちの生活でもできることがたくさんあってSDGsへの取り組みがより身近なものになった。
- ・これからの未来の海や自然を守っていくために自分ができることを進んでやっっていこうと思った。
- ・調べてみると自分が今まで知らなかった企業が行っている活動がたくさんあり、もっと認知されてほしいと思った。